

平成26年度第1回岡山県和牛改良委員会 議事概要

- 1 日 時 平成26年6月23日(月)13:30～
- 2 場 所 農林水産総合センター畜産研究所第1会議室(美咲町)
- 3 出席者 委員 10名
事務局 4名

4 諮問事項

(1)委員及び役員について ……資料1

互選により、会長に農林水産総合センター畜産研究所 小田所長、副会長に全農岡山県本部 藤原畜産部長を選出。

(2)種雄牛の作出方針について ……資料2

岡山系を中心に、増体系及び肉質系の種雄牛を作出する。

(3)直接検定終了牛の措置について ……資料3

直接検定が終了した2頭のうち、期待育種価が枝肉重量、脂肪交雑で「藤利花」を上回っており、体型的にも優れている「新百合」の後代検定を実施する。

(4)検定済み及び検定中種雄牛の措置について

ア 検定中種雄牛 ……資料4

【沢利姫】

検定牛21頭全頭が終了し、平均BMSNo.6.4で、安定しているが、バラの厚さ、皮下脂肪にやや難がある。基幹種雄牛「新初英」と系統的に似通っており、利用の見込みが薄いことから淘汰する。

【茂洋勝】

検定牛18頭中17頭が終了し、平均BMSNo.5.9と基幹レベルに達していないことからあと1頭残っているが、淘汰する。

イ 候補種雄牛 ……資料4

昨年の改良委員会で選抜された「花千代」は、現在精液量及び精子活力に難があり、精液ストロー製造が芳しくないため、今年度の現場後代検定の指定交配には供さない。しかし期待育種価は非常に高く、母「はなはな」は既に死亡しており、この掛け合わせの牛は二度と出来ないことから、研究所内で数頭後代を作出し、受胎状況、産子の状況を調査し、その後の対応を決定する。

(6)第11回全国和牛能力共進会について ……資料5

- ・肉牛の部について、肥育希望頭数から逆算すると、今年11月末から12月末にかけて、300卵程度の移植が必要であり、受精卵(♂)は現在250卵保存。
- ・種牛の部については、今年母牛の選定を行い、出品対策協議会の助成等を利用して作出しなければ候補牛をそろえるのは難しいと各農協の委員に伝えた。

(7)その他

協議会等を原則公開すべきとの県の指針に基づき、次回より5人までの傍聴を認めることとなった。